

提出議案と 審議結果

(議案第61号)

平成30年度日高市一般会計

補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億5千995万1千円を追加し、補正後の総額を、それぞれ179億4千920万6千円とし、また、繰越明許費の設定及び債務負担行為の追加をしたいというものです。

歳入については、国庫支出金のうち、障がい者自立支援給付費等負担金及び障がい児施設措置費(給付費等)負担金を増額、医療扶助費等負担金を増額、地域生活支援事業費補助金を増額、県支出金のうち、障がい者自立支援給付費等負担金及び障がい児施設措置費(給付費等)負担金を増額、地域生活支援事業費補助金を増額、茶・地域特産物振興総合対策事業費補助金を追加、県議会議員選挙費委託金を増額、繰入金のうち、今回補正予算額の歳入歳出差引の調整を行うため、財政調整基金からの繰入金を増額、諸収入のうち、民生費国・県支

出金追加分を増額するものです。

歳出については、各費目に共通する人件費を補正、費目により増減はあるが、合計としては減額、総務費のうち、総務管理費では、民生費国・県支出金等返還事務及び衛生費国・県支出金等返還事務で平成29年度に収入した国・県支出金について実績に基づく精算により返還金を追加及び増額、選挙費では、県議会議員一般選挙の選挙期日が平成31年4月7日に見込まれたことから、年度内の執行に伴う費用を増額、ポスター掲示場設置委託料を減額、債務負担行為の設定、民生費のうち、社会福祉費では、障がい者日中一時支援事業及び障がい福祉サービス等給付事業で各種支援やサービス等の利用者及び利用回数が増加していることから、これらに係る費用を増額、障がい者福祉システム管理事務で、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正等に

伴い、障がい者福祉システム改修委託料を増額、介護保険特別会計繰出事務で、介護保険制度の改正に伴うシステム改修に対して、財源に国庫支出金が見込めたことから、繰出金を減額、生活保護費では、低所得者自立支援事業で、医療費が増加していることから、医療扶助を増額、農林水産業費のうち、農業費では、特産品創出事業で、高萩茶葉生産出荷組合が予定している機械施設の整備に対し、財源として県支出金が見込めたことから、市農業振興事業補助金を増額したいというものです。
(賛成多数で原案可決)

討 論

議案第61号 反対討論

この補正予算には市長、副市長、教育長、議員の期末手当の支給割合の引き上げによる特別職人件費増額分48万円と、市職員の給料月額、支給割合の引き上げ等による人件費の増額分1千422万3千円が含まれている。

職員の不祥事を受け、三役が給料減額をもって責任をとるといふのであれば、同時に期末手当を自ら上げることが

その効果を台無しにする。議員については議会改革も進まず、合議体として市政への貢献も十分にできていない。今回の不祥事は組織としてのゆるみがあったと言わざるを得ず、市民の信頼を取り戻すまでの間、職員の給料等についても引き上げを行わないという判断が妥当と考える。以上のことから、本議案に反対する。

議案第61号 賛成討論

この補正予算は、人事院勧告並びに埼玉県人事委員会勧告を踏まえた人件費の補正や平成29年度に収入した国・県支出金の精算など、当初予算成立後の事由により対応するための歳入歳出予算の追加、増額及び減額、並びに繰越明許費の設定や債務負担行為の補正を行うもので、必要不可欠な補正であると判断する。以上のことから、本議案に賛成する。

議案第61号 反対討論

この補正予算には人件費が含まれている。今回の不祥事に関して、三役と直属の管理者が減給処分されるなか、責任をとって減給するということが、本当に問われていると

思う。このような問題を含むため、この補正予算を議会としてそのまま通してしまっているのか。以上のことから、本議案に反対する。

議案第61号 賛成討論

本議案は、一般会計歳入歳出予算に1億5千995万1千円の補正を行うものである。歳出予算の内容には、社会福祉費の増額として各種支援やサービスの増加に伴う障がい者日中一時支援事業260万円、障がい福祉サービス等給付事業5千418万9千円、生活保護費の増額として医療費の増加に伴う低所得者自立支援事業4千625万8千円の増額も含まれている。

こうした増額は、社会的弱者である障がいのある方、低所得の方の生活を保証し、市民誰もが安心して生活するために欠かす事ができないと考える。以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第62号)

平成30年度日高市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

改元に伴う後期高齢者医療